

陽だまり

No.3
2023.10月
(隔月発行)

陽だまり 宗教2世支援ニュースレター



解散命令請求についての見解 ～宗教2世それぞれの思い

INDEX

- 解散命令請求について
 - 解散命令請求とは？／陽だまりの見解・・・2
 - 宗教2世当事者それぞれの思い・・・3, 4
- シリーズ：宗教2世支援のあり方 ③
 - ～ 支援と中立性の問題・・・5
 - 「陽だまりオンライン会」の概況・・・6
- 相談の概況と相談員の声・・・7
- 事務所兼相談施設の進捗状況・・・8
- Information・・・9
- 当事者の声 募集・・・9
- サポーター募集・・・9
- 編集後記・・・9

解散命令請求とは？

宗教法人法は、「法令に違反して、著しく公共の福祉を害すると明らかに認められる行為」や「宗教団体の目的を著しく逸脱した行為」などがみられた場合、裁判所が解散を命じることができる、と定めており、解散命令請求とは、この**解散命令を出すよう裁判所に請求**することで、その請求者は、宗教法人を所管している省庁や地方自治体、検察官、利害関係のある人に限定されています。

旧統一教会をめぐる問題では、所轄庁である**文部科学省**が請求者となり、10月13日、民法上の不法行為などを理由に、教団に対する解散命令を**東京地方裁判所に請求**したと文部科学大臣が明らかにしました。今後は裁判所が文部科学省と教団の双方から意見を聴いた上で解散命令を出すかを判断することになります。解散命令が確定した場合、**宗教上の行為は禁止されませんが**、教団は**宗教法人格を失い、税制上の優遇措置が受けられなくなります**。

今回の解散命令請求の調査を担った文部科学省の外局である文化庁は、昨年11月以降、本件宗教法人に対して**7回にわたり報告徴収・質問権を行使**したほか、全国靈感商法対策弁護士連絡会や**170名を超える被害者等へのヒアリング**、他の資料を精査し、その結果、本件宗教法人が**解散命令事由に該当すると判断**したことを明かしています。

文化庁宗務課が解散命令請求に至った経緯や対象事実の詳細は、[こちらのPDF](#)をご覧ください。

陽だまりの見解

陽だまりは宗教2世全体の**支援**をする団体であり、**特定の宗教法人の解散を求めているわけではありません**。

陽だまりは、様々な宗教団体から離脱した2世のメンバーで主に構成されており、旧統一教会から離脱したメンバーも在籍しており、相談も受けています。教団に対するスタンスは個々に異なり、今回の決定に複雑な想いを抱いている方もいるかもしれません。我々はそのような想いも受けとめる場所でありたいと考えています。なお、今後の被害者への補償、そのために教団の財産を保全するための法整備は、経済的損失を直接ないし間接的に受けている2世の救済の観点から、早急に必要であると考えています。

宗教2世問題は、高額献金や児童虐待だけが問題というわけではありません。陽だまりに寄せられる相談内容だけをみても、家族関係、メンタルヘルス、社会的孤立、貧困、進学・就職・結婚等のライフステージの機会損失、宗教的付きまといや信仰・政治活動の強制、脅迫的な教義や命令・指示に対する恐怖感情、教団から離脱後の社会復帰など、それ以外の問題も山積みしています。宗教2世問題はそれらが組み合わさった形で、個人にのしかかる複合問題です。これらに対応できる**相談先も具体的な支援策もまだ不十分**です。これらの問題を解決し、自分らしい生活を送ることができるよう、**個々のニーズに合った支援**が求められており、我々は、今後も**宗教2世に対する支援活動を**続けてまいります。

解散命令請求を受け、陽だまりに寄せられた宗教2世当事者それぞれの想いをご紹介します。

※当団体の特性上、**旧統一教会を含む様々な教団から離脱した宗教2世の声**になります。

やっと解散命令請求までたどり着けたなという感想。もっと早くに解散してくれれば、私たち宗教2世の被害は少なかったのかも。

社会的に問題のある勧誘活動や集金活動を行っている宗教法人への制裁措置としては妥当と感じた。税制の優遇は撤廃されるが団体としては存続できるため、信教の自由とのバランスを取った判断のように思う。

時期が遅すぎたくらい。工ホバの証人や創価学会等の団体にも検討してほしい。

宗教二世問題は、家庭連合に限らない。

旧統一協会の方々の粘り強い活動によって不当勧誘防止の法律に続き、解散命令請求までたどり着いたこと、とても尊敬しています。ここに至るまでの酷い被害と、いつまでも続く生活の不安定や精神の不調、声を上げられた方へのいわれもない中傷に耐えへとへとになりながら活動をされてきたことを想い、カルト宗教をほったらかしていた責任も感じてます。

今回の解散命令請求 に感じたことは？

新興宗教とされる以外の伝統宗教でも苦しんでいる方がいる。忘れないでほしい。

ようやく解散請求がでてよかったと思う。

この流れが、他のカルト宗教にも波及してほしい。

解散命令請求が出たこと自体には、まだ司法での判断があるため、過剰に盛り上げないほうが良いのでは…とブレーキをかけつつ、ある一つの社会的な提議を教団側に突き付けることはできたのではないかと感じている。

解散命令請求は、去年の今頃からネット署名活動が始まり約20万筆が集まりました。活動を支持していた世間の方々は、もしかしたら、この解散命令請求がゴール・解決に感じる人もいるかもしれませんが、そんなことはなく、これからのほうがより関心を持って注目してほしいです。

ただ、解散命令請求という事象が社会に与えるインパクトがあまりに大きすぎて、元々あった歪みがまた別の歪みに変わってしまうだけでは…という不安がある。

解散が一日も早く行われることを願う。へとへとになって活動してる方々に優しい社会になってほしい。

解散請求は、宗教法人格の剥奪であり、信教の自由を奪うものではない。SNS上では現役信者へ対し過激な発言が見られる。相手と自分に程よく線を引き生活することは可能なはずで、必要以上に追い詰めたら、弾かれた人たちは拠り所を求め、また同じ問題が起きるのではないか。

宗教2世には離教したものもいるが、教団に様々な立場で籍を置き続ける人たちもいる。

今回のような解散請求では在籍する2世は重大な岐路

に立つことになるが、その中で、路頭に迷う宗教2世が多く出るのではないかとというのが大きな懸念。悩み戸惑う彼らを笑うことや唾を吐きかける事ははできない。発言一つで敵か味方かに分かれてしまう感じが嫌。宗教2世個人の選択肢が尊重される社会になってほしい。

いい意味で先事例になってほしい。他方で信者が感情的になり、宗教2世に対する宗教虐待が激化する可能性を思うと怖い。

解散後、地下活動に入り、被害が見えなくなるのではないかと。

司法が実際に解散命令を決定するのか気がかり。解散命令が決定するまでに期間を要し、被害者への弁済に必要な財産が残されるか疑問。他の宗教法人を買い取って課税を軽減するスキームも存在するようなので、状況が好転に向かうのかは注視したい。

「宗教2世」という言葉が、政治性を大いに孕む言葉になってしまったと感じる。政治批判に宗教2世のエピソードが利用され、二極化された互いの陣営が強い言葉で罵り、偏見を振りまき合い、過激な表現を使う方には著名な方もいて、脱力

しかない。どちらかの陣営に立たなければ、発言は許されないように感じることもある。

昨年事件を正当化させるような言動があるのも非常に残念で、今後も「宗教2世」を語る際には常に事件が取り上げられるのではないかと、そんな血の匂いがするような言葉になってしまうのではないかと、強い懸念を覚える。

他のカルト宗教にも要件が当てはまるなら解散請求の審査請求がでてほしい。

宗教法人でなくなるだけなので活動は続けられるのが心配。

**今後に期待すること
危惧すること**

シリーズ: 宗教2世支援のあり方③

～ 支援と中立性の問題

当法人は3月5日、「宗教2世支援－どうあるべきか」というパネルディスカッションを開催し、旧統一教会・エホバの証人・創価学会・その他の背景を持つパネリストと等身大でリアルな「宗教2世」への支援について考えました。その様子を4回のシリーズで紹介していきます。第三回目のテーマは「支援と中立性の問題」について――



反対者家族や被害者団体と異なり、「支援」の現場では、「高度な中立性」を維持した対応の必要がある場面が多く存在します。その立ち位置をどのように考えるかについて話し合い、以下のような所感や見解が出ました。

『支援対象は、現役・グレーゾーン・離脱者と様々で、それぞれグラデーションがあり、支援者の立ち位置では、**中立性と当事者主体**は基盤と思っています。教団に“ふるさと”に近い感覚がある方も当然いて、それを全否定するとアクセスがしにくくなる場合もあるので、**個別の状況とスタンスを尊重**して関わっていければと考えています。』

『人それぞれにグラデーションがあり、家庭環境や地域差があるので、自分の定規に当てはめて考えようとする、決して解決できないと痛感しています。高度な中立性は私の中では**線引きの問題**で、相手に対するリスベ

トを忘れず、**一緒に解決策を見出す視点**でやっていきたいと思っています。』

『絶対視から**相対視**すること…全体の中で「この団体は何か」を**俯瞰的**に見て、対象者が今どの位置にいるかを見ると、必然的にある程度の距離感が取れるかと思っています。』

『問題があるのは教団であり、信者ではないと思っています。宗教2世問題は、心のケアの問題、政治と宗教の問題などいろいろありますが、**今、目の前にいる人に必要なことは何か**は、分けて考えると良いかと思っています。』

『**社会的弱者側に寄り添う**くらいでないと中立性は保てないんじゃないかと思っています。当事者がどんなゴールを望んでいるかは生育環境や親との関係により随分異なるので、当事者の話をよく聞き、当事者が望んでいない支援の押し付けにならないよう政府も行政もサポートしていただきたいと思っています。』

宗教2世の支援においては、**俯瞰的視点**を持ちつつ、**当事者のスタンスを尊重**し、その**ニーズに合わせて**、効果的な支援を提供していく必要があるでしょう。

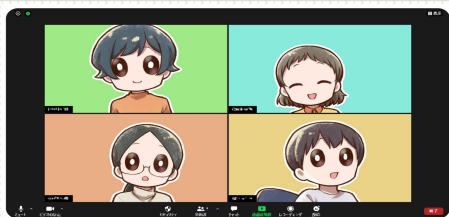


この詳細は、公式サイト内の [資料室内のテキスト](#)

(◀QRコード) または公式YouTube [動画](#) (QRコード▶) をご覧ください。



「陽だまりオンライン会」 概況



9/3日曜日、第一回「陽だまりオンライン会」を開催し、6名の方が参加してくださいました。

関係のある宗教も立場もバラバラの方が集まって行われましたので、お話をじっくり聴き理解しようとする雰囲気がありました。

具体的なやり方を紹介します。
ZOOMを用い、顔出しなしで行っています。

手順

1. オンライン会のルールを出席者全員で順番に読みます。その主な内容は、

- ・皆が当事者として参加する。
- ・自分の話したいことを話す、話したくないことは話さない。
- ・途中で辛くなったら離れるのも戻ってくるのも自由。
- ・それぞれが過去の経験によるトラウマを抱えていることに配慮して話す。
- ・周りの参加者はアドバイスや反論をしない。自分が同じ体験をしたらどう思うかという観点で話す。

2. 各参加者が3分程度で自己紹介と、今日話したいテーマを出します。この際も、自らのことをどう表現するかは自由です。詳しく自己紹介する方も、あまり述べられない方もおられます。

3. 各参加者が順番に自分のテーマをさらに詳しく3分程で話します。今回はいきなり参加者に話してもらおうと気後れする方もいるかと予想し、スタッフが最初に自分の考えていることを話しました。

4. 一人が自分のテーマを話した後に、他の参加者が感想を短く述べます。今回は全ての参加者に感想を述べてもらいました。

5. 他の参加者の感想に対して、話した人がさらに感想を述べ、一人分の時間が終わります。

6. 最後にこの会全体の感想を全員が順番に述べて、閉会となります。

この会はカウンセリングと違って、スタッフを含め集まっている全ての人が対等な立場です。それぞれが抱えている問題についての専門的な知識や解決するための情報よりも、「どんな場面でどんな気持ちになったか」あるいは「今の自分の状況と気持ち」を共有することに重きが置かれます。

その点を一人の人が時間を決めてじっくり話し、その後周りの参加者が真摯な感想を述べることで、参加者それぞれが「しっかり聴いてもらえた」「他の人も自分と同じ気持ちになることがある」と感じられる会にしたいと願っています。

時間の制約で、十分話せないこともありますが、参加者同士がよく理解し合えたと感じていただけるよう、スタッフも努力していきます。「陽だまりオンライン会」は月一回のペースで行う予定です。



概況

今まで、**エホバの証人、創価学会、旧統一教会**などの2世の相談が多かったのですが、最近はその**以外の団体の相談**も多くなってきています。

それら団体での相談の内容は、組織内のヒエラルキーが絡んだ内部問題、家族との関係、また昨今の宗教2世の報道から受けた信仰の揺らぎなどさまざまです。自身が宗教2世ではないか、と感じる人が増え、広がってきているのかもしれません。

ほかにも、宗教2世の**関係者からの問い合わせや相談**も少しずつ来ています。宗教2世の家族や友人や配偶者、恋人など直接関係する方のほか、教育関係の方や心理職関係の方からの情報提供の依頼や協力の打診などもあります。

このように、**従来の枠を超えた、さまざまな宗教2世の相談対応**をしていますので、そのようなニーズにも応えられるよう柔軟に対応できるようにしていきたいと思っています。

ひとつではない答え 相談員 水瀬

「エホバの証人」から足を洗って15年が経ちます。同じ仲間たちと交流する中で、繰り返し身に沁みだしたことがあります。答えは、ひとつではない。「幸せ」の形も、ひとつではない。むしろ、ご相談くださる方々の数だけある…。わたし自身、教え込まれてきた「答えはただ一つ」、「これが正しい幸せの形」といった固定観念と向き合い、ひとつずつ外してみる毎に視野が、世界がまたひとつ広がってきたように感じます。答えは、ひとつではない。「幸せ」の形も、ひとつではない。この思いを常に胸に刻み、ご相談くださる方々ひとりひとりに丁寧に向き合って参ります。

仲間として 相談員 福本

カルト宗教をやめて今までの人間関係がバツサリと断たれました。家族以外で支えとなってくれたのは、オフ会で知り合った仲間でした。彼らへの感謝も込めて、「宗教をやめてもひとりではない」と感じてもらいたいので相談員をさせていただいています。でも実際は、相談にどう答えて良いか、あるいはどんな情報を提供するかわからないことばかりです。ですが、宗教被害者という同じ立場にたって悩みを共有し、次の一歩が少しでも見えてきたら、お話を聞く価値があるのではないかと思います。これからも相談者の仲間として、お話を聞いていくつもりです。

クラウドファンディング御礼

事務所兼相談施設の進捗状況



9月より**事務所と相談室設置**のため、現事務所周辺の小田急線座間駅周辺の不動産回りを行い、10月12日に事務所可のマンションをお借りすることができました。

2DKですので、一部屋は事務所として、もう一部屋は相談室として活用することができます。さらにフローリングなど、改修工事も済んでおり、内装もかなりきれいです。

静穏な住宅の一角で、なおかつ駅から徒歩2分と利便性の良い場所ですので、相談者様にも安心してご利用していただけるのではないかと考えています。

なお、事務所のある座間駅周辺には、旧小田急電鉄社宅をリノベーションし、グッドデザイン金賞を受賞した「[ホシノタニ団地](#)」、リノベーションオブザイヤー最優秀賞を受賞した駅前の「[ざまにわ](#)」など、環境にやさしくおしゃれな建物や空間があり、相談室も最上階で見晴らしのよい場所となっています。

座間市について説明しますが、市の福祉の

取組みに「[誰も断らない](#)」を掲げており、座間市役所の福祉部に行くと、この言葉が大きく掲げられています。先進的な取り組みとして[書籍](#)でも取り上げられ、他の自治体からも見学があるとのこと。宗教2世では、貧困脱却や自立支援、付きまとい対策が必要な例もあり、このような行政の取組みとの連携も必要と考えられます。そのため、事務所と相談室を設置する場所の決定をする一つの大きな要素となりました。

現在、移転するための業者を選定、さらに相談のためのインターネット・電話設置、また登記移転などの準備に追われております。

ほかにも、Zoomを使った相談対応などもできるよう、機器の設置も考えており、Zoomオフ会もできるかを検討しています。

日程としては、24日に移転と施設準備、**11月あたりに相談室オープン**を目指しています。多くの宗教2世の方に利用してもらえるよう準備を進めておりますので、今しばらくお待ちください。





P7掲載の「陽だまりオンライン会」は、現在のところ、陽だまりの相談LINEの公式アカウントを追加して下さった方にご案内しております。

オンライン会に参加ご希望の方は、相談LINEの公式アカウントを友達追加し、オンライン会担当福本にお問い合わせください。（※オンライン会の案内方法は今後変更になる場合がございます。ご了承ください。）

【陽だまり相談LINE公式アカウント】



現在、次号以降のニュースレターに掲載する当事者の声を募集しています。

＜内容＞

宗教2世としてどのようなことを感じたり、どのような支援が欲しかったか、またはどのような支援に救われたか

文字数：250字～270字前後

＜要項＞

- ・採用、不採用、何月号に掲載となるかは未定で基本的に通知はいたしません。
- ・希望のハンドルネームを記載（匿名可能）
- ・所属団体名の付記の有無も問いません。
- ・下記の公式メールまたはX（Twitter）のDMに「当事者の声応募」としてお送りください。

サポーター募集

陽だまりは、応援して下さる皆様からのご寄付により事業を展開しています。

振込先：みずほ銀行 厚木支店（758）
普通 3098717
シヤ）シユウキヨウニセイシエン
センターヒダマリ

※振込人名義の冒頭に「キフ」を付けてください。
また一緒に活動してくれる仲間（会員）も募集しています。入会をご検討される場合は、下記の公式メールよりご連絡ください。

※会員には定款により一定の要件があります。

編集後記

陽だまりの設立総会は7ヶ月前の3月5日だったんですね。クラファン、旧統一教会に対する解散命令請求、他にも人権的な大きなニュースが色々ありすぎてすでに遠い過去のような気がします。

そんな3月の総会の日のパネルディスカッションのシリーズによる紹介（P5掲載）は、パネリストの考え抜かれた見解に、私は今改めて読んで感動を覚えています。

この後いよいよ対面の相談場所が開設されます。ひとりでも多くの方の人生が前へ進みますように！（担当H）

【一般社団法人 宗教2世支援センター陽だまり】

☐TEL 050-3046-6745 ☐E-mail <mailto:info@nisei-hidamari.org>

☐HP <https://nisei-hidamari.org/> ☐Facebook <https://www.facebook.com/niseihidamari>

☐X (Twitter) <https://twitter.com/niseihidamari> ☐Youtube <https://www.youtube.com/@hidamari-2sei>

